



夏潮の日本海。遠景に親不知を望む



古壺新酒

第36号

令和5年7月1日

日本伝統俳句協会
北信越支部長

瀬在光本

題字 安原 葉
ホトトギス同人会長

「共生と平和の文学」の旗を掲げて

日本伝統俳句協会北信越支部長 瀬在光本

三年余に渡りコロナ禍に世界中が翻弄されてきましたが、日本でも日常の制限が緩和される状態になりつつあります。

さて、この協会の提唱者であります稲畑汀子師がお亡くなりになりました。も一年半を過ぎようとしております。

●協会設立の思い

汀子師が36年前の昭和62年（1987年）に「俳句を守りその伝統を継承していこう」として設立された趣旨をおもいおこしてみますと、当時、俳句人口の増加と裏腹に、俳句の質が悪くなってきた商業主義のマスコミ俳壇を意識せず「花鳥諷詠を専らに、平明にして余韻のある句」をこつこつ作り、伝統俳句の現代に通じる新しさを作品として実証してきたホトトギスは今こそ立ち上がるべき」との思いをもって提唱された本協会でした。

私にはこの思いは大正2年に虚子が河東碧梧桐の新傾向俳句を危惧して俳壇に復帰した時の強い思いと同じと思われるます。

●旗を掲げて

岩岡新会長は協会の自立と充実に向け次のように考えています。

一、本協会存立の理念の確認しその旗を掲げる。その理念を「自然や社会などの存在一切への存問・挨拶し一つになって詠む「共生と平和の文学」としており、これは汀子師が実践された「友愛の文学」のことであるとしております。

二、理念を実現する運営組織の強化を図る。

三、本協会の拡大強化のために入門講座やシンポジウムの企画の充実を図る。北信越支部もこれらの方針が具現化できるよう進めてしていく所存です。

●俳句のある人生を楽しむ

私たちは俳句を人生の糧として楽しみながら句作に励めたらと思っておりますが、年を重ねると今までと違って思うように活動ができないなどの悩みがあります。また、若い会員の入会を促す為にはDX化（インターネット句会等）も図る必要があります。このような諸々の課題はありますが、各人無理をせず出来る範囲で行動し楽しい「句座」が持てたらいいかと思ひます。

先ずは皆様のご健康、そしてご健吟され佳き句が授かれむことをご祈念申し上げます。挨拶とさせて戴きます。

長野県部会報告

第二十七回信濃虚子忌俳句大会

日時 令和五年四月十五日（土）

場所 長野市生涯学習センター

コロナ禍により二年間投句のみの句会にせざるを得なかった信濃虚子忌を、今年は思い切って開催した。久しぶりの大会に皆心が弾んだ。当日は色とりどりの椿の花がたくさん集まり、虚子先生のご遺影は華やかに飾られ、嬉しそうに見えた。豆大福もお供えし、皆にも配られた。三句投句の互選。席題一句。久しぶりの楽しい句会となった。（参加者は二十八人）

鈴木しどみ選

丹精の椿の花よ虚子祀る
合ひ別れしばし楽しき虚子忌かな
葱坊主野球少年走り過ぐ
今欲しきもの何あらん花の下
春の句座大福を買ふ桜坂

瀬在光本選

野の花も飾りて信濃虚子忌かな
重力を思ひのままに蜘蛛上下
花疲れ足の先から眠くなる

川崎繁子選

春眠やいつか崩れしひじ枕
髪を切る理由いくつか春の行く

小林つくし

井出 節子
清水 順子
藤澤 方恵
加藤 公男

川崎 繁子

山浦 愚草
青木く美子

牧野 菊生

鈴木しどみ

艶やかに百歳の笑み春爛漫

西本ゆき選

諦めも生きる技なり山笑ふ
こころ込め花鳥諷詠虚子祀る
たたく手に鯉跳ね上がり水温む

松本れい子

滝澤さくら

小林つくし

倉石 智美

新潟県部会報告

今年度行事

葉書投句による、代表選者選の句会。2023年秋頃実施

富山県部会報告

令和4年度事業（主な実施事項）

県俳句連盟ホームページ「虚子」俳句の画像変更

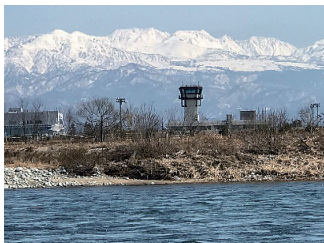
俳句…「立山の其の連峰の雪解水 虚子」

句碑…南砺市新町「西源寺」

写真…神通川・富山空港から立山連峰を望む景色（変更）

<https://e-platform.org/course/index.php?categoryid=51>

<新規>

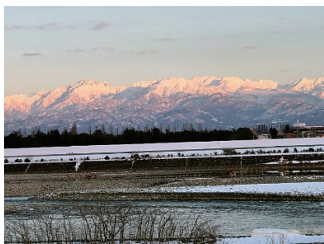


立山の

其の連峰の雪解水

高浜虚子

<従来>



日本伝統俳句協会（本部）【オンライン講座】への参加

『俳句が上手くなる文法講座』（全2回）

開催日…7月3日(日)、7月10日(日) 全2回

講師…井上泰至（日本伝統俳句協会 常務理事、防衛大学校 教授）

第1回…「文法はどう使う？」

第2回…「そこがポイント！」

歳時記とは!? 新たな歳時記の発見（全2回）

開催日…12月11日(日)、1月29日(日) 全2回

第1回 山田 佳乃（「円虹」主宰／日本伝統俳句協会監事）

・代表的な歳時記&いろいろな歳時記 他

第2回 成田 一子（「滝」主宰／日本伝統俳句協会理事）

・「どんな歳時記を使っている？」他

「虚子」に学ぶ伝統の（初心者）俳句教室

1月例会 講座テーマ「子規・虚子の写生論」

2月例会 講座テーマ「虚子俳話」牧谿の絵

「思い出の一句」投句集約方法変更

例年投句を失念する人があり、事務局から直接提出状況の確認をお願いしてきましたが、R4年度より、各県代表にてそれぞれの会員に「思い出の一句」の投句を確認していただくこととしました。

県俳句連盟オンライン俳句会への参加

富山県俳句連盟オンライン俳句会に参加（前年度より継続）

富山ホトトギス俳句会より 7名参加／全16名中

俳句会結果：

<https://e-platform.org/course/view.php?id=96>

北日本新聞「とやま文芸散歩」コーナー投稿

北日本新聞社「文芸散歩」への投稿（前年度より継続）／毎月

例 <https://e-platform.org/course/view.php?id=88>

県俳句連盟合同句集への参加

富山県俳句連盟合同句集（第47集）に作品掲載（前年度より継続）

富山ホトトギス俳句会より10名参加／265名中／各15句

令和5年度事業（計画）

県俳句連盟事業への参加（継続）

総会・春季俳句大会…6月3日(土) 北日本新聞社ホール

ホトトギス同人会長 安原 葉 先生講演

「私の俳句人生」

〈県俳句連盟にて原稿起し作成中〉

夏期吟行俳句会…7月16日(日) 魚津 埋没林博物館ホール

秋季俳句大会…10月7日(土) 北日本新聞社ホール

それぞれに富山ホトトギス俳句会員参加

「虚子」に学ぶ伝統の初心者俳句教室…〈継続〉

Facebookとホームページ連携により一般からの

集客・参加を募集。

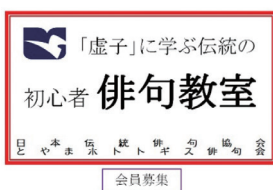
県俳句連盟オンライン俳句会への参加（毎月／継続）

富山県俳句連盟オンライン俳句会に参加（前年度より継続）

<https://e-platform.org/course/index.php?categoryid=51>

参加者…とやまホトトギス俳句会より 7名参加／全18名中

県俳句連盟「文芸散歩」執筆・掲載（毎月／継続）



北日本新聞紙上「文芸散歩」への投稿（前年度より継続）／毎月

<https://e-platform.org/course/index.php?categoryid=51>

日本伝統俳句協会・北信越支部WEB会報（リニューアル）

令和元年（昨年）6月発行に北信越支部の会報がそれまでの「北信越」から新しい題名の会報「古壺新酒」に改訂されましたが、これを受けて北信越支部の活動としてこの会報のWEB化を行ってききました。が、昨年よりリニューアルしました。

主なりニユアル点

○ホーム（Home）にスライドショー「各年ホトトギス俳句大会」および「花鳥詠の俳句」

○会報「古壺新酒」－最新の会報 令和4年第35号

○思い出の一句－令和4年度

○お知らせ－イベント案内－各地の行事

お問合せ・お申込みからご意見をいれていただきますよう、ご協力をお願いします。

・掲載記事・活用方法など
・関東支部、関西支部、北海道支部との連携など
・SNSとの連携など

公益社団法人 日本伝統俳句協会・北信越支部・WEB会報

サイトアドレス（URL）
<https://575web.com/wp>

○ホームHome
（スライドショー）
－各年ホトトギス俳句大会
－花鳥詠の俳句

○会報
「古壺新酒」
－最新の会報
令和4年第35号

○思い出の
一句
－令和4年度

○ギャラリー
－季節の写真集
－北信越の句壇案内
－WEB会報
（準備中）

○お知らせ
－イベント案内
－各地の行事

○本部・支部
案内（リンク）
－日本伝統俳句協会
－ホトトギス
－NHK俳句

○お問合せ・
お申込み
－ご意見・ご要望



花鳥詠の俳句



QRコード
（スマホ可）

虚子記念文学館



日本伝統俳句協会

公益社団法人日本伝統俳句協会は、有季文型の伝統俳句を継承・発展させ、その精神を涵養、実の奥に寄与することを目的としています。そして、その精神に賛同する方々によって結成・設立された協会です。昭和62年、鎌倉市鶴見町子のもとに発足し、翌63年には社団法人として認可がおり、平成24年に公益社団法人に移行しました。

北信越支部

道は新なり・古壺新酒
高沢慶子・金子保樹
俳句は伝統の文脈であります。十七字、季語という構造的制約がある限り俳句は古くからあることが前提であることは事実です。しかし古い面であり、しかしながら今申したいように出来るだけ深く深くと探究して行くとその制約内で新しいことを見出し、行っていくことと承継します。古い面と新しい面

公益社団法人 日本伝統俳句協会
ASSOCIATION OF JAPANESE CLASSICAL HAIKU
北信越支部 事務局

お知らせ

第四十六回北信越ホトトギス俳句大会（当番県 石川）

期 日 令和五年十月一日（日）九時受付

会 場 金沢ニューグランドホテル「金扇の間」

吟 行（各自）金沢城公園・兼六園・尾山神社

（汀子・廣太郎句碑）等々

投 句 嘱目・当季雑詠五句

投 句 締切 十一時三十分

特別選者 稲畑廣太郎主宰 他

大 会 開会十二時三十分 終了予定十六時

申 込 先 92010944 金沢市三口新町1丁目1-1

あらうみ会気付

北信越ホトトギス俳句大会事務局

申込締切 令和五年七月三十一日（月）

●「奥の細道」つるが芭蕉紀行

第二十回 全国俳句大会（福井）

日 時 令和五年十月二十九日（日）十時～十七時

会 場 プラザ萬象（小ホール）

吟 行 受付 九時 会場受付十一時

吟 行 地 氣比神宮・人道の港敦賀ムゼウム

申 込 先 91410801 福井県敦賀市松島町23-21

中者正機 方

「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会実行委員会事務局

日本伝統俳句協会北信越支部

令和四年思い出の一句

新潟

悲しさに空しさに果つ二月かな 小川 則子
 掃苔や敵も味方もなかりけり 大矢あきこ
 白南風も迷へる異常気象かな 関口 智実
 夏負けも九十余年のしるしかな 佐藤 美春
 霾や大陸語る父偲ぶ 佐藤 文子
 夏草やこの丘にて少年期 橋詰シズエ
 来し方を思ひ巡らす文月かな 林 惣峰
 濃紫陽花活けて香焚く夫忌日 榎本清津子
 学び舎は茂も深き山の寺 小川のぶこ
 なつかしき虚子の字の門露涼し 安原 葉
 年月に褪せぬ想ひ出月涼し 安井 里子
 柿若葉旧街道は蔵の町 笠原佐千子
 くちなはの轢かれしまゝに生きてをり 桑原 幸子
 残雪の嵩はと聞かれ背丈ほど 藤井 敏子
 露の世のかくも短き詩を創り 内藤 孝
 新涼の風受く朝の散歩道 八島三枝子
 紅白に空二分する運動会 桑原たかよし
 金銀を運びし港枯芒 板垣 柳子
 蚯蚓鳴くエラー続きの検温器 藤原 哲

富山

犬は犬の朝の挨拶縷紅草 宇波可津志
 曉闇のさゆらぎにあり白蓮 片桐 久恵
 あたたかきこころ寄せ合ひ師を偲ぶ 荒木かづを
 子規忌から修練したる一歩かな 岩崎 晃嗣
 夏椿落ちて清しき白さかな 佐野 皐月
 樟脳の香りに噎せて雛飾る 荒木 陽子
 立山からの風彩るや寒の餅 畑中あづき
 皮膚が皆膨らむごとし猛暑かな 坂井一二三
 わが息にさへ汚れさう白牡丹 稲田 節子
 芭蕉布や戦なき世を祈りつつ 高城 玲子
 街の顔替へ江戸よりの年の市 田上真知子
 花の磴虚子の句碑へとつづきけり 平野 孝純
 高きより鳶の鳴く声梅日和 有川 寛
 門かどに子供神輿の声弾む 武田 律子
 密を避け様子違へど風の盆 井上 大輔

石川

旅途次の引鴨と聞く池の群 大橋美代子
 早ばやと梅干仕上げたる今年 谷口由美子
 父母の在さぬふるさと銀河濃し 宮下 末子
 颱風来記録に残る熱波連れ 中田 康子
 自転車で彷徨き廻る初夏の風 坂本 雪峰
 風はらむブラウス真白夏木立 鈴木 恵子
 転げ来る仔犬つつみて風光る 中川外代子
 野道早や呆け初めたる草の花 松下 薫

我町内木槿咲く庭数多なり 川口 俊子
 木道の補修を待たぬ水芭蕉 瀬古 祥子
 蜻蛉の一呼吸して羽根下す 荒谷みえ子
 平凡な暮らしに活ける福寿草 金子 慶一
 門に出て吾待つ母や盆の月 澤野 和子
 寒明けを待つ新調の旅衣 石名坂房枝
 扇状の沃土に光る春の川 篠島 安子
 新築の居間に君臨古雛 西野久仁夫
 師を悼むホ句の心の春寒し 赤島磨智子
 白山を仰ぐ露けき古墳群 辻 美智子
 春の宵警報告げる拡声器 橋本紀美子
 高原の空の自由に赤とんぼ 八百 恵子
 兵たりしことをぼつりと生身魂 橋本 正乃
 庭下駄の揃へてありし夏座敷 折橋紀与美
 初夢に能登の空舞ふ二羽の朱鷺 坂下 成紘
 明け易し稜線抜ける日矢眩し 牧野 妙子
 近づきて離れて梅に立ちつづけ 堀口 紀子
 踏んで踏んで踏んで踏んでも物芽出づ 辰巳 葉流
 鮎の川読む釣人の動かざる 岸本佐紀子
 懐かしき友を心に栞る秋 村本寿美枝
 老鷺に答えつ殿様道をゆく 宮田也寸子
 病める吾に塩分控へ胡瓜もみ 伊東弥太郎
 師とめぐるあの日も燃えてあしかな 水橋眞智子
 師を偲ぶ御句碑に早秋の風 西 登美枝
 捗らぬ終活半ば秋暑し 米田 玲子
 城垣の色深めゆく秋しぐれ 米田 陽子

光浴び白き対岸花の雲

牛はるか点となりたる雲の峰

計らずも病衣として着る浴衣かな

万緑の城下を分けて川二つ

退院の一步の風の爽やかさ

風荒ぶ冬田をたたみゆく落暉

弥陀ヶ原短き命なる花野

日を乱す緑の風を見て籠る

青海苔の磯の香りの濃かりけり

マスクする生活に慣れて世に疎し

芋水車何時もの位置に立山凛々し

雲の峰アラジン隠れゐるやうな

混み合へる駅の安らぎ花水

賀に叶ふ百万石の園涼し

風音に語尾さらはるる行々子

二人静群れ咲きて尚静かなる

師を偲ぶ花鳥諷詠春の月

一株が殖えし鈴蘭地を広げ

京の旅一目惚れして買ふ雛

み吉野の万蕾磨く春の雨

また緩ぶ離農の決意冬田打つ

穂芒に触れてバス行く峠道

手張りたる畑仕藪蚊の容赦なく

白山の水に育ちし青田かな

名峰の雄姿くつきり朱夏の天

語り継ぐ実盛塚にある秋思

田中 裕女

守作 青暢

大岸 青夏

正藤 宗郎

三島田 紀子

吉田 正則

駒形 隼男

横町 陽子

北川まつ子

小島 藍女

中島 外岐

上田 恭子

中村 直美

松本 寿憲

向 佐子

梶井より子

松本 慶子

矢木 桂子

岩本 松江

村上 秀吾

長徳谷とし

出島 達子

堀口 道子

永井佐和子

松田 勲

仲谷美枝子

見上ぐるも見下ろすも青葉の宇宙

竹林を透かしほのかに梅雨の月

川風に鮎のころなる匂ひあり

城見えて青空見えて花の中

福井

白桃やすりり柔らか湯浴みの児

夏瘦て電車吊り皮あえかなる

ふらここに心残りの揺れてをり

曝書して整理はじめるビートルズ

暑いのに背中合せに犬と老

芋の露こぼさず風の弄ぶ

秋風に白き紙鶴飛ぶ構へ

牡丹の崩れも縁し放哉忌

銀河濃し寝惜しみ河童橋行き来

長野

遠き日の木更津の海苔濡標

森濡れてうまさうな水ぼたり秋

佳き日待つ小諸桜を塩漬けに

初花の朝はきれいに歩きたく

古典へと話深まる夏炬かな

芽柳の風に素直を貰ひけり

名月やベビーベッドに健人君

春風や空はひとつと信じをり

夏空の沖縄の声平和の詩

松本 洋美

宮前 速男

野村 玲子

森田 康夫

多田みす枝

山岸世詩明

村上 雪

堀なでしこ

奥 清女

木幡 嘉子

岸本 幸子

為永香月枝

中山 昭子

勝山 學

瀬在 光本

佐藤ゆきな

鈴木しどみ

川崎 繁子

牧野 菊生

丸山 ま美

松本れい子

宮澤 澄明

傾けて夫も入れたる秋日傘

なせば成る母の一言初夢に

埃ふきオルガン春の小川鳴る

信濃路や野分来てまた野分来て

山頂の空奪ふかに透き通る

悩ましき免許返納春うらら

群馬

冬満月電話の声の透き通る

小林 貞子

井出 節子

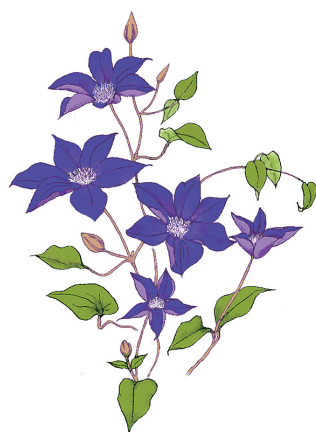
西本 ゆき

宮澤 正

清水 順子

小林つくし

吉田 洋子



募集 私の一旬

同封の郵便はがきに記載の上、九月末までに次へお送りください。

○宛先 〒930-0241

富山県中新川郡立山町道源寺

8312-1

荒木かづを 宛

日本伝統俳句協会北信越支部役員会報告

日時：令和5年5月23日

会場：ホテルメトロポリタン長野

下記案件につきまして全会一致で承認されました

第1号 令和4年度事業報告・決算報告（会計監査報告）について

第2号 令和5年度事業計画（案）・予算（案）について

第3号 当面の事業運営について

(1) 令和6年度支部役員担務について

(2) 第46回北信越時鳥俳句大会（9/30～10/1）について

(3) 令和6年日本伝統俳句協会全国俳句大会（当番北信越支部）について

日本伝統俳句協会北信越支部決算及び予算

決算（自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日）

予算（自 令和5年4月1日～至 令和6年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

令和4年度決算			令和5年度予算	
収入の部			収入の部	
項 目	決算額	備 考	予算額	備 考
前年度繰越金	889,569		696,069	
利 息	3		3	
運営協力金	527,000	2000円×263.5口	550,000	
合 計	1,416,572		1,246,072	
支出の部			支出の部	
協力金振込手数料	25,454	ゆうちょ銀行払込	30,000	ゆうちょ銀行払込
会報発行費	159,921	会報35号発行	150,000	会報36号発行
事業報告会及び研修会費	150,000	各県部会へ補助金 ^(注)	150,000	各県部会へ補助金 ^(注)
事業協力費	10,000	姨捨句会	20,000	姨捨、山中、敦賀句会
会議費	188,800		200,000	役員会等
情報関連費	—		50,000	WEB会報費用
事務費	81,328	郵送料ほか	90,000	郵送料ほか
予備費	105,000	入会補助金21名	50,000	入会補助金
小 計	720,503		740,000	
次年度繰越	696,069		506,072	
合 計	1,416,572		1,246,072	

（注）各県部会への内訳：新潟3万円、長野3万円、富山2万円、石川5万円、福井2万円 計15万円

2. 記念事業積立金

一般会計とは別に全国俳句大会準備金等として 1,500,262円積立

日本伝統俳句協会北信越支部役員

役 職	氏 名	所属県	役 職	氏 名	所属県
顧問	安原 葉	新潟県	事務局長	牧野 菊生	長野県
顧問	藤浦 昭代	石川県	副事務局長	宮澤 正	長野県
顧問	駒形 隼男	石川県	会計担当	勝山 學	長野県
支部長	瀬在 光本	長野県	副会計担当	井出 節子	長野県
副支部長兼長野県部会長	鈴木 しどみ	長野県	会計監査	大城 玲子	富山県
副支部長兼新潟県部会長	藤原 哲	新潟県	会計監査	大橋 美代子	石川県
富山県部会長	荒木 かづを	富山県			
福井県部会長	山岸 世詩明	福井県			
石川県部会長	森田 康夫	石川県			

日本伝統俳句協会

北信越支部への協力金

(二〇一九年度) 〔二〇二千元〕

ご芳名および口数

五十音順・敬称略

(10口) 勝山 學

(5口) 松本慶子・板垣柳子・駒形隼男・

鈴木しづみ・瀬在光本・安田畝風・

安原 葉・山岸世詩明・安浄寺勉強会

(3口) 長徳谷とし・中村曜子・藤原 哲・

矢木桂子

(2・5口) 赤島摩智子・飯貝恵秀・

今井芳子・大橋美代子・奥 清女・

川崎繁子・木幡道子・西川 忠・

堀口紀子・牧野菊生・松本松魚・

横町陽子・桑原たかよし・田野井かつを

(2口) 小島藍女・中村珠栄・高城玲子・

向佐ち子・村上秀吾・村上 雪・

笠原佐千子・西本ゆき・北 重子・

小川則子・松本寿憲・仲谷美枝子・

関口智実・坂井一二三・宮澤 正・

牧野妙子・野村玲子・森田康夫・

荒谷みえ子

(1・5口) 青木福太郎・浅井和子・

有川 寛・石名坂房枝・井出節子・

榎本清津子・大矢あきこ・小川のぶこ・

折橋紀与美・片桐久恵・岸本佐紀子・

北川まつ子・北七喜美子・桑原幸子・

小池保子・坂下成紘・佐藤文子・

佐藤美春・佐藤ゆきな・清水順子・

鈴木恵子・辻美智子・西登美枝・

橋詰シズエ・橋本紀美子・藤井敏子・

藤澤まさ江・藤田暁夫・堀口道子・

正藤宗郎・宮澤澄明・宮下末子・安井里子

(1口) 伊東弥太郎・稲田節子・岩崎晃嗣・

岩島照子・岩本松江・上田恭子・

大岸敬明・岡山幸子・梶井より子・

加藤公男・金子慶一・金箱一世・

上村美登利・川口俊子・岸本幸子・

窪田富美子・木幡嘉子・小林貞子・

小林つくし・坂本雪峰・佐野皐月・

澤野和子・篠島安子・清水 哲・

清水節子・瀬古祥子・高橋真理子・

田上眞知子・武田律子・田代草猫・

多田みす枝・辰巳葉流・田中延子・

田中裕女・谷口由美子・為永香月枝・

辻 文江・出島達子・内藤 孝・

永井佐和子・中川茂子・中島外岐・

中田康子・中野幸枝・中山昭子・

西澤ひろみ・西野久仁夫・橋本正乃・

畑中節子・林 惣峰・早瀬貞子・

平野孝純・堀なでしこ・本田輝代・

本間百果・松下 薫・松田 勲・

お願い

北信越支部への協力金

昨年も多くの方からご協力をいただき御礼申し上げます。北信越支部の活動資金は皆様の協力金という名の会費に依っています。今年度も同封の趣旨をご理解いただき、絶大なご協力をよろしくお願い申し上げます。

○協力金 一口 二千元 何口でも結構です

○期 日 9月末日

○振込は 振込用紙でお願いします

振込番号 006501613870

○加入者名 日本伝統俳句協会北信越支部

